



補候立2人新現

立候補者 (右から左へ届け出順・敬称略)



福島市長選告示

コロナ、経済訴え

21日投票開

任期満了に伴う福島市長選が14日告示された。立候補したのは届け出順にいずれも無所属で、現職の木幡浩氏(61)―1期―と、新人

で会社経営の高橋翔氏(33)―郡山市―の2人。21日投票で即日開票される。32年ぶりの無投票ムードから一転して選挙戦となった

た。期日前投票は15〜20日、10カ所で行われる。21日の投票は81カ所で行われ、同日午後9時15分から福島市仁井田の福島トヨタクラウ

ンアリーナ(市国体記念体育館)で開票する。県都ではJR福島駅東口周辺で2026年度開所の大規模複合施設を核とした再開発事業が進む。一方で隣接する伊達市の「イオンモール北福島(仮称)」の開業を控え、中心市街地の活性化が課題となっている。

木幡 浩 61市 長 無現

〔略歴〕原町高、東大経済卒。復興庁福島復興局長、総務省消防庁消防大学校長、岡山県副知事、北海道大公共政策大学院教授 福島市宮下町
〔政見〕コロナ対策は手を緩めず、日常の再生に取り組み。子育て・教育、魅力ある仕事、文化の薫りがするにぎわいづくりで住み続けたい都市をつくる

高橋 翔 33会社経営 無新

〔略歴〕都立多摩工高電気科卒。宇宙関連企業経営。郡山市日和田町高倉

〔政見〕DX(デジタル技術による事業変革)で行政の利便性を高める。コロナ禍で影響を受けた事業者支援で雇用を守る。防災に注力し市民の命を守る

高橋候補は前例踏襲の排除を掲げ、デジタル化やコロナ禍を受けた事業者支援、子ども子育て世代支援、防災力強化を主張する。13日現在の有権者数は、23万4167人(男性11万3028人、女性12万1139人)。